

水稻栽培講習会を実施しました！

～高温対策、斑点米カメムシ類対策を中心に～

君津農業事務所改良普及課 令和8年2月9日発

近年の水稻栽培においては、生育期間中の高温やカメムシ類の吸汁被害による米の品質低下が問題になっています。この対策を学ぶ機会として、君津農業事務所では1月26日に水稻の栽培講習会を実施し、生産者と関係機関を合わせて32名が出席しました。昨年6月にも同じテーマで講習会を実施しましたが、1月の講習会では令和7年の気象や米の等級比率、カメムシ類調査結果、資材施用試験の結果といった直近のデータや傾向を用いて高温障害の対策、カメムシ類被害の対策などを説明しました。

質疑応答の際にはカメムシ類防除のタイミングや農薬の効果が持続する期間について等、具体的で活発な質問があり、カメムシ類対策へ取り組む意識の高さが伺えました。また、アンケートから、高温対策資材についても今後の情報提供を求める声がありました。

農業事務所では引き続き講習会等を通じて高品質な米づくりを支援します。



水稻講習会の様子



高温対策試験ほ設置の様子（6月）